

# 江田島市公共交通協議会

平成21年6月11日設置  
平成22年3月25日連携計画策定



## 概要

江田島市は平成16年に安芸郡江田島町及び佐伯郡能美町、沖美町、大柿町が新設合併し、新しい江田島市としての歩み始めている。市の公共交通は、住民の生活圏が広島市や呉市に及ぶことから、必然的に航路が基軸を担い、市内の主要拠点間の移動を路線バスが担っている。しかし、近年の人口減少やマイカー利用の増加等により、公共交通の利用者は減少傾向にある。一方で高齢化が進み、マイカーを自由に利用できない高齢者を中心に、公共交通へのニーズは高まりつつある。また、合併による生活圏域の広域化等により市民の移動ニーズは多様化しており、こうしたニーズに対応した効果的、効率的な公共交通サービスの構築が急務となっている。このような状況の中、江田島市の公共交通を持続可能なかたちに再構築することを目的に、各種事業を実施する。

### ○西能美航路の合理化・効率化

- ・人口が減少する中、近接する中町、高田、三高の3つの棧橋において、多くの航路が運航し、特に運航経費が高額なフェリーについては、収入源である車両輸送需要が2つの航路に分散し、非効率
- ・中町・高田～宇品のフェリー便を廃し、減った便数を高速船で代替
- ・高速船特化により効率化された分の原資により、運賃の値下げ等を検討

### ○交通空白不便地域への移手段確保

- ・バス路線から離れている、あるいは使いたい時間に路線バスが運行していない等の理由により、公共交通を利用できない集落が存在
- ・こうした住民の移動ニーズに応えるため、デマンド型乗合タクシーの実証運行を行い、細かな課題等の把握を行う(江田島地区、沖美地区)

### ○サイクル&シップライド型エコツーリングの推進

- ・自転車ツーリングで江田島市を訪れる人は多い
- ・市内の観光スポットに関する情報提供が十分でない
- ・航路利用者の増加を図るため、サイクリングマップを作成し、サイクル&シップライド型エコツーリングを推進

### ○市内外の観光施設とタイアップした観光ルートの開発

- ・術科学校などの主要施設のみを訪問するスポット的な観光が大半であり、市内を周遊する観光は非常に少ない
- ・平成22年度は市内の主要な施設を結ぶバス路線を実証運行し、施設間を周遊する観光ニーズの把握と運行に向けた課題を整理

### ○インターネット等による情報提供の充実

- ・住民や来訪者にとって必要な公共交通の情報が、十分に整備されていない
- ・複数の棧橋を一体と考えた時刻表の作成や、航路とバス路線の乗り継ぎなど、複数事業者間にまたがる情報をわかりやすく提供
- ・欠航情報のメール配信等、携帯電話での情報提供も合わせて検討

#### 西能美航路の見直し実証運航



#### デマンド型乗合タクシーの実証運行(江田島地区)



#### デマンド型乗合タクシーの実証運行(沖美地区)



#### サイクリングマップの作成



#### インターネット等による情報提供の充実



#### 市内主要観光施設を周遊するバス路線の実証運行

